

## 取扱説明書

車への取り付けは、必ずこの取扱説明書の「安全上のご注意」に従って正しく行ってください。指定以外の取り付け方法や指定以外の部品を使用すると、事故やけがの原因となる場合があります。この場合は、弊社では一切の責任を負いかねます。

### 販売店様へ

取り付け作業が完了しましたら、この取扱説明書はお客様へお渡しください。

### 免責事項について

お客様または第三者が、この製品の誤使用、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については、弊社は一切の責任を負いません。

<下記窓口へのお問い合わせ時のご注意>  
「0120」で始まる電話番号は、携帯電話・PHS一部のIP電話などからは、ご利用になれません。携帯電話・PHSからは、ナビダイヤル、またはIP電話をご利用下さい。(通話料がかかります) 正確なご相談対応のために折り返しお電話をさせていただいておりますので発信番号の通知にご協力いただけますようお願いいたします。


**カスタマーサポートセンター** ※記載内容は、予告なく変更させていただくことがありますのでお客様サポートサイトもご利用ください。

■お客様サポートサイト  
<https://pioneer.jp/rd/support/>  ■商品についてのよくあるお問い合わせ(FAQ)  
<https://pioneer.jp/rd/support/faq/> 

■電話  
 《カーオーディオ、カーナビゲーション商品》※受付時間はお客様サポートサイトでご確認ください  
 【固定電話から】0120-944-111 (無料) 【携帯電話・PHSから】050-3820-7540 (IP電話・有料)  
 または 0570-037-600 (ナビダイヤル・有料)  
 ※カーナビゲーションの訪問宅電話番号検索機能に関する個人情報の削除などはこちらの窓口で承っております

■ファックス 0570-037-602 (ナビダイヤル・有料)

**修理受付窓口**

■修理受付サイト  
 受付時間、よくあるお問い合わせなどはホームページをご確認ください   
<https://pioneer.jp/rd/support/purpose/repair/>

■電話  
 【固定電話から】0120-5-81028 (無料) 【携帯電話・PHSから】050-3820-7550 (IP電話・有料)  
 または 0570-037-610 (ナビダイヤル・有料)

■ファックス 0120-5-81029 (無料)



令和2年10月現在 記載内容は、予告なく変更させていただくことがありますので予めご了承ください。 VOL.10

パイオニア株式会社  
 〒113-0021 東京都文京区本駒込2-28-8 文京グリーンコート




## 安全上のご注意 (安全にお使いいただくために必ずお守りください)

あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、必ずお守りいただくことを説明しています。

■表示内容を無視して、誤った使いかたをしたときにおよぼす危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。


	<b>警告</b>	「人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」です。
	<b>注意</b>	「人が軽傷を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容」です。


■お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

	注意 (警告を含む) しなければならない内容です。		必ず行っておくべき内容です。
	禁止 (やってはいけないこと) の内容です。		

DR-005-001\*\*

## 接続・取り付け

 **警告**

 **禁止**

エアバッグの動作を妨げる場所には、取り付けや配線をしない

エアバッグが動作しなかったり、動作したエアバッグで製品や部品が飛ばされ死亡事故の原因になります。車両メーカーに作業上の注意事項を確認してから作業を行ってください。

取り付けやアース配線に、保安部品(ステアリング、ブレーキ、タンクなど)のボルトやナットを使用しない

制御不能や発火、交通事故の原因となります。視界や運転操作を妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所には取り付けない


交通事故やケガの原因となります。

電源コードの被覆を切って、ほかの機器の電源を取らない

電源コードの電流容量がオーバーすると、火災や感電、故障の原因となります。


本機は、保安基準に適合しない場所に貼り付けたり、再貼り付けや汎用の両面テープで貼り付けたりしない

視界不良や本機がはがれて、事故の原因となります。

 **禁止**


車両メーカーが指定する禁止エリアに、取り付けや配線をしない

カメラ装置などの動作を妨げるおそれがあり、交通事故の原因となります。車両メーカー、カーディーラーに注意事項を確認してから作業を行ってください。

 **強制**

取付・取外し・配線は、専門技術者に依頼する

誤った取り付けや配線、取り外しを行うと、車に支障をきたす場合があります。また、お客様ご自身による取付・配線はケガの原因となりますので、販売店などにご依頼ください。

 **強制**

説明書に従って接続・取り付ける


説明書に従わずに接続・取り付けを行うと、火災や故障の原因となります。

エアバッグの動作を妨げないように、取り付け位置や角度の調整を行う

エアバッグが動作しなかったり、動作したエアバッグで製品や部品が飛ばされ死亡事故の原因となります。車両メーカーに作業上の注意事項を確認してから作業を行ってください。

コード類をしっかりと固定する

コードを固定する付属部品または市販部品を使用してください。ステアリングやセレクトレバー、ブレーキペダルなどに巻きつくと、運転操作を妨げ事故の原因となります。また、乳幼児の首などに巻きつく危険があります。

 **強制**

パイプ類、タンク、電気配線などの位置を確認し、干渉しないように取り付ける

穴あけドリル等がパイプ類、タンク、電気配線などと干渉すると、火災、故障の原因となります。

付属の部品を使用し、固定する

付属の部品以外を使用すると、機器内部の部品を損傷したり、しっかりと固定できずに外れて運転の妨げになり、事故やケガの原因となります。

取り付けと配線が終わったら、車の電装品が正常に動作するか確認する


正常に動作しない状態で使用すると、火災や感電、交通事故の原因となります。


車体やネジ部分、シートレールなどの可動部にコードを挟み込まないように配線する

断線やショートにより、火災や感電、故障の原因となります。

取り付け場所の汚れ(ごみ、ほこり、油)などを取り除き、しっかりと取り付ける

走行中に外れ、交通事故やケガの原因となります。乗車時に取り付け状態(接着やねじのゆるみなど)を点検してください。

 **注意**

 **禁止**

ヒーターの吹き出し口の近くに設置しない。製品の通風口、放熱板を塞ぐ場所には設置しない

熱風が直接当たったり、放熱が不十分となり、内部温度が上昇し、火災や事故の原因となります。

本機を不安定なところに取り付けない


落下などによる事故やケガ、故障の原因となります。

コード類は途中で切断しない

コード類にはヒューズがついている場合があるため、保護回路が働かなくなり、火災の原因となります。


コード類の配線は、車体の高温部・金属部・可動部に接触させない

断線やショートによる火災や感電の原因となります。

 **禁止**

水のかかるところや結露、ほこり、油煙の多いところに取り付けけない

発煙や発火、故障の原因となります。


 **強制**


シガーライタープラグを確実に挿入する

挿入が不十分だと火災、感電の原因となります。シガーライタープラグは定期的に清掃と点検を行う

シガーライターソケットの中に異物が入っていると火災、感電の原因となります。

## 使用方法

 **警告**

 **禁止**

本機はリチウム二次電池を内蔵しています

- 液体で濡らさない
- 分解しない
- 指定以外の方法で充電しない
- 火の中へ投入、加熱をしない

発熱・発火・破裂の原因となります。

電池を火の中へ投入したり、火気に近づけたり、加熱したりしない

絶縁物が溶けたり、ガス排出弁や保護回路を損傷するだけではなく、漏液した電解液に引火し、破裂、発火の原因となります。

内蔵電池に強い衝撃を加えない

変形、保護機構が破損する可能性があります。発熱、破裂、発火の原因となります。

画面だけを見ながらの運転はしない

必ず目視による安全確認を行いながら運転してください。距離感の違いとカメラの死角により人や物にぶつかるおそれがあり、思わぬ事故の原因となります。

大きな音量で使用しない

警告音など車外の音が聞こえない状態で運転すると、交通事故の原因となります。

電池・ネジなどの小物部品は乳幼児の手の届くところに置かない

誤って飲み込んだ場合は、ただちに医師に相談してください。


液体で濡らさない

発煙、発火、感電の原因となります。

分解や改造をしない

交通事故や火災、感電の原因となります。

 **分解禁止**

 **禁止**

ぶら下がったり、押したり引っ張ったりして、力を加えたりしない

ケガや車両の変形および故障の原因となります。

シガーライタープラグ挿入中はソケットを回したり押し込んだりしない


接触不良により火災や故障の原因となります。

液漏れした電池には直接触らない

ケガや周囲を汚染する原因となります。万が一皮膚や衣服に付着した時は、きれいな水で洗い流してください。目に入った時は、きれいな水で洗ったあと、ただちに医師に相談してください。

画面が映らない、音が出ない、音声割れる、歪むなどの異常・故障状態で使用しない

思わぬ事故や火災、感電の原因となります。

 **強制**

実際の交通規制に従って走行する

ルート案内が実際の交通規制に反している場合があります。交通事故の原因となります。

必ず規定容量のヒューズと交換する

専用のシガーライタープラグのヒューズが切れているときは、新しい標準管ヒューズ(直径5.0 mm/長さ20 mm)に交換して、先端部をしっかりと締めます。必ず規定容量のヒューズ(F 2L/250 V)と交換してください。

専用のシガーライタープラグを使用する


専用のシガーライタープラグ以外を使用すると、火災や感電、故障の原因となります。


使用後または長時間使用しない場合はシガーライタープラグを抜く

車種によってエンジンを切ってもシガーライターソケット電源が切れない場合があります。火災やバッテリー上がりの原因となります。

フロントガラスに貼り付ける機器等は、車を止めてから操作する

無理な姿勢で操作すると運転操作を誤り事故の原因となります。

 **注意**

 **禁止**


本機は自動車用途以外で使用しない

発煙や発火、感電やケガの原因となります。

本機の上に重いものを乗せたり、乗ったりしない

落下させる、たたくなど、強い衝撃を与えない

故障や火災の原因となります。

 **禁止**

キャッシュカードなどを本機に近づけない


磁気データが消去されることがあります。

本機をフロントガラスと車用サンシェード等の間に挟み込まない

熱がこもり、本機の変形や故障の原因となることがあります。駐車監視機能使用時にサンシェードを使用する場合は、ドライブレコーダー部分を切り取るなど加工を行ってください。

シガーライタープラグを濡らしたり汚したりしない

火災、感電の原因となります。濡れたり、汚れたりしたときは、きれいに拭き取ってください。


 **注意**

運転者は運転中に画像を注視しない

前方不注意となり交通事故の原因となります。

車両から乗り降りするときなどは、製品に頭部をぶつけないように注意する


ケガの原因となります。


 **注意**

温度の上昇に注意する

夏の炎天下、直射日光を浴びている場合など、表面が高温になるので触る場合は十分注意して触ってください。車のダッシュボード同様に高温になります。

## 異常時の問い合わせ

 **警告**

 **強制**

万一異常が起きた場合は、直ちに使用を中止し、必ず販売店かサービス相談窓口にご相談する

そのまま使用すると、思わぬ事故や火災、感電の原因となります。そのようなタイミングまたは操作をした場合に、その異常事象が発生したかの詳細情報をできる限り販売店かサービス相談窓口にお伝えください。



# 保証書とアフターサービス

## 保証書

保証書は、ご購入年月日、販売店名などが記入されていることをお確かめの上、ご購入の際に販売店より受け取ってください。保証書に記入もれがあったり、保証書を紛失したりすると、保証期間中でも保証が無効となります。記載内容をよくお読みの上、大切に保管してください。

## 保証期間 修理について

この製品の保証期間は、お買い上げの日より 1 年間です。  
本機は持ち込み商品のため出張修理は承っておりません。引き取り修理サービスをご利用ください。（お車から取り外していただいた状態での引き取りとなります。また送料はお客様ご負担となります。）

## 保証期間中の修理 について

万一、故障が生じたときは、保証書に記載されている弊社保証規定に基づき修理いたします。お買い上げの販売店または修理受付窓口にご連絡ください。  
連絡先については、弊社ホームページをご覧ください。

## 保証期間経過後の 修理について

お買い上げの販売店または修理受付窓口にご相談ください。修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。なお、生産終了により補修用性能部品の調達や修理後の性能保証などの事情から修理できない場合があります。あらかじめご了承ください。

## 車からの脱着 （お取り外し・お取り付け） について

弊社修理拠点へのお持ち込みは、製品をお車から取り外した状態で、承ります。なお、修理・点検時における本製品のお車からの脱着費用の負担、及び脱着作業は承っておりません（保証期間内含む）。販売店、または取付店にご相談ください。

## ご質問、ご相談は

本機に関するご質問、ご相談はパイオニアカスタマーサポートセンターまたはお買い上げの販売店にお問い合わせください。

# 本書の見かた

表記	意味
	取り扱いで注意していただきたいことや、本機の性能を維持するうえで注意していただきたいことについて、説明しています。
<b>メモ</b>	操作する上でのヒントや、機能に関する補足について説明しています。
[○○]	画面に表示される選択項目を表します。
→ [○○○○]	参照していただきたい箇所や設定項目を表します。

- 本書で使っているイラストや画面例は、実際の製品と異なることがあります。
- 実際の製品の画面は、性能・機能改善のため、予告なく変更することがあります。
- 本書では、microSDHC/SDXC メモリーカードを、便宜上「microSD カード」と表記しています。

# 使用上のご注意

## ⚠ 本機取り扱いに関するご注意

- 運転者は走行中に再生操作や設定操作などしないでください。前方不注意となり交通事故の原因となります。必ず安全な場所に停車してから操作してください。
- ドライブレコーダーの各機能は、設定・設置状況・microSD カードの状態・走行環境（路面状況など）の影響により、正しく作動しない場合があります。
- ダッシュボード上に明るい色のものを置くと、フロントガラスに反射してカメラ映像に映り込む場合があります。ダッシュボード上には明るい色のものを置かないでください。
- 本機は事故の証拠として、効力を保証するものではありません。
- 本機は全ての状況において映像の記録を保証するものではありません。
- 本機で撮影できる範囲（→「仕様」）には限界があります。予め記録される映像で確認の上で使用ください。
- 60℃以上の高温または-10℃以下の低温、および湿度の高い場所では本機の電源をオフし、使用しないでください。60℃以上の高温環境下で使用すると本機の録画機能が停止し、画面にメッセージが表示される場合があります。温度が下がると、自動的に録画を再開します。
- 本機で撮影した映像を取り扱う際は、被写体のプライバシーなどを侵害しないよう十分にご配慮ください。また、お客様の責任でお取り扱いください。本機で撮影した映像には、車両ナンバーなどの個人情報が含まれる場合があります。
- 天候や時間帯等の周囲の状況によっては、車両前方の状況を正しく認識できない場合があります。
- LED 式信号機や道路上の街灯などを撮影すると、信号機や街灯が点滅しているように撮影されたり、ちらついたりする場合があります。また、色が識別できない場合があります。これらの場合には弊社は一切の責任を負いません。
- 本機は G センサー（加速度センサー）で衝撃（加速度）を検知して事故発生前後の映像を記録しますが、全ての状況において映像の記録を保証するものではありません。
- 電源供給時には必ず付属のシガーライター電源ケーブルを使用してください。
- 弊社では、破損したファイルや消去したファイルの復元サービスは行っておりません。

	連続録画ファイル保存領域
	イベント録画ファイル保存領域
	駐車監視録画ファイル保存領域

- 各ファイル保存領域の空き容量が足りなくなると、上書き保存されますのでご注意ください。残しておきたい大切なファイルがある場合は、バックアップすることをお勧めします。→「撮影したファイルのバックアップ」
- 事故録画など必要な録画記録が上書きされないように必ず電源を OFF してから microSD カードを取り出し保管してください。→「microSD カードの入れかた・取り出しかた」
- 動画ファイルはお手持ちのパソコンでも再生できます。ただし、パソコンの性能によっては、映像の再生がコマ落ちしたり止まったりすることがあります。
- カーナビゲーションなど GPS を使用する機器を本機の近くでお使いの場合、電波障害の影響で、一時的に GPS 衛星の電波を受信できなくなる場合があります。また、周辺機器の機能にも何らかの影響を及ぼす可能性があります。
- レンズ部を手で触らないでください。触ってしまった場合は、柔らかい布で拭いてください。
- バックアップ用リチウム二次電池は消耗品です。時間保持用の電池であり、充電を繰り返すと時間が保持できなくなる可能性があります。頻繁に時刻がリセットされる場合は、弊社修理窓口にご相談ください。（**お買い上げ時は 1 時間程度充電してください。**）
- バックアップ用リチウム二次電池は、通常お客様が交換する必要はありません。データ等が壊れる恐れがありますので、故障時等の交換は、販売店が修理受付窓口へ依頼してください。

## ⚠ microSD™ カードの取り扱いに関するご注意

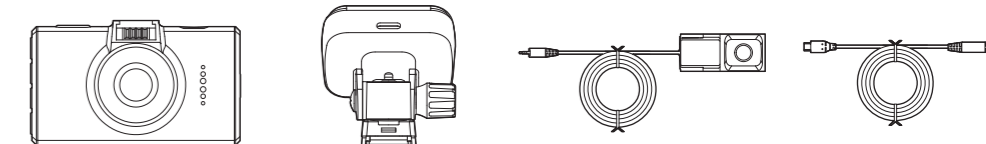
- 本機は、以下の microSD カードに対応しています。

	microSDHC™	microSDXC™
容量	16 GB ~ 32 GB	64 GB ~ 128 GB
ファイルシステム	FAT32	
スピードクラス	Class10 以上	

全ての microSD カードの動作を保証するものではありません。

- 当社推奨 microSD カード：パイオニア製 microSDHC/SDXC メモリーカード（別売品）。詳細は以下より製品ページをご覧ください。<https://jpn.pioneer/ja/carrozzeria/>
- microSD カードは本機でフォーマットしてご使用ください。また、カード内にパソコンなどで他のデータを入れずにご使用ください。
- microSD カードは定期的にフォーマットしてください。
- microSD カードへのアクセス中は、microSD カードを抜かないでください。ファイルやカード自体が破損する恐れがあります。
- microSD カードは普通に使用していても正常に書き込みや消去などの動作をしなくなる場合があります。
- microSD カードの寿命は保証対象外となります。**
- microSD カードは消耗品です。定期的に新品への交換を推奨いたします。長期間使用すると、不良セクタの多発などにより正常に記録できなくなる場合や、microSD カードがエラーになり使用できなくなる場合があります。
- 付属の動作確認用 microSD カードおよびお客様がご用意された microSD カードの消耗に起因する故障または損傷については、弊社は一切の責任を負いません。
- お手持ちのパソコンで認識している microSD カードが、まれに本機で認識しない場合があります。この場合、microSD カードの不具合によっては、本機のフォーマット機能でフォーマットすることにより認識する場合があります→「ドライブレコーダーの設定」の「設定できる機能」- 「システム設定」の「SD カードフォーマット」。ただし、フォーマットした場合は、microSD カードに記録された保護ファイルも含めた全てのファイルが消失します。フォーマットの際は、必ず microSD カードファイルのバックアップを作成してから行ってください。

# 付属品を確認する



ドライブレコーダー本体 × 1  
取付ブラケット × 1  
リアカメラ (3 m) × 1  
リアカメラ接続ケーブル (6 m) × 1



シガーライター電源ケーブル (4 m) × 1  
microSDHC カード (32 GB) × 1  
取扱説明書 × 1  
保証書 × 1



クリーナークロス × 1

## ヒューズを交換するときは

付属のシガーライター電源ケーブルを接続しても、電源が入らないときや充電できない場合は、ヒューズ切れを確認してください。



**⚠ 注意**  
ヒューズが切れているときは、新しい標準管ヒューズ（直径 5.0 mm/長さ 20 mm）に交換して、先端部をしっかりと締めます。必ず規定タイプ、容量のヒューズ（F 2 L/250 V）と交換してください。



# 取り付けの前に知ってほしいこと

## 警告

- エアバッグ装着車に取り付ける場合は、エアバッグのカバー部分および作動時の妨げになるような場所には絶対に取り付けないでください。エアバッグが正常に動作しなかったり、動作したエアバッグで本機が飛ばされ、事故やけがの原因となります。

## 注意

- エアバッグ装着車に取り付ける場合は、車両メーカーに作業上の注意事項を確認してから作業を行ってください。エアバッグが誤動作する原因となることがあります。
- 必ず付属の部品を指定どおりに使用してください。指定以外の部品を使用すると故障する恐れがあります。
- 必ず車両の備品および運転に支障のない場所に本機を取り付けてください。

## 取り付け上のご注意

- 保安基準\*に適合させるため、本書をよくお読みになり、正しく取り付けてください。  
\*保安基準とは、道路運送車両の保安基準第29条及び細目を定める告示第195条をいいます。
- ドライブレコーダー本体およびリアカメラは、ガラス取り付け専用です。ガラス以外や車室外には取り付けしないでください。
- ドライブレコーダー本体をフロントガラスに取り付けるときは、必ずフロントガラスの指定位置・寸法内に取り付けしてください。
- フィルムアンテナ / FM/AM アンテナ付近に設置しないでください。受信感度の低下、ノイズの原因となる可能性があります。また、それぞれのアンテナコードや他のケーブルと本機のケーブルを一緒に束ねないでください。

## 取り付けのポイント

### ■取り付け、固定する前に

まず仮接続を行い、本機が正常に動作することを確認してから、取り付けを行ってください。正常に動作しない場合は、接続に間違いがないか、もう一度チェックしてください。

### ■両面テープを貼り付ける前に

両面テープを貼り付けるところは、汚れをよく拭きとってください。

- リアカメラをリアガラスに取り付けるときは、以下の点にご注意ください。
  - 熱線がある場合は、熱線避けて取り付け。
  - リアワイパーがある場合は、ワイパーの拭き取り範囲に入るように取り付ける（雨天時の水滴、ガラスの汚れにより映像が見づらくするため）。
  - ハイマウントストップランプからできるだけ離して取り付け。

- 車種によって、指定の位置や寸法内に取り付けられないことがあります。詳しくは、販売店にご相談ください。
- ドライブレコーダー本体およびリアカメラを塞いだり、レンズを汚したりしないでください。
- レンズの近くに反射物を置かないでください。
- ドライブレコーダー本体およびリアカメラは、落としたり、レンズ部分には触れないよう、取り扱いには十分ご注意ください。
- 自動車のガラスにコーティング剤または特殊加工が施されている場合は、録画品質に影響が出る可能性があります。
- 自動車のガラスに特殊加工が施されている場合は、GPSが受信できない可能性があります。本機の画面に表示されるGPS受信状態表示をご確認の上、GPSが受信できない場合は取り付けの事ができません。→「ドライブレコーダーの使いかた」の「撮影画面の見かた」
- 作業場所は、空気中にゴミ、ホコリなどがない場所を選んでください。
- 気温が低いときやガラスがくもっている場合は、接着力の低下を防ぐため、車内ヒーターやデフロスタースイッチをONにしてウィンドウを暖めておいてください。

両面テープは、一度貼り付けた後に剥がすと粘着力が弱くなるため貼り直しできません。必ずドライブレコーダー本体およびリアカメラを仮留めし、ケーブルの引き直しなどを十分に検討してから貼り付けてください。

### はがれないようにしっかり取り付ける

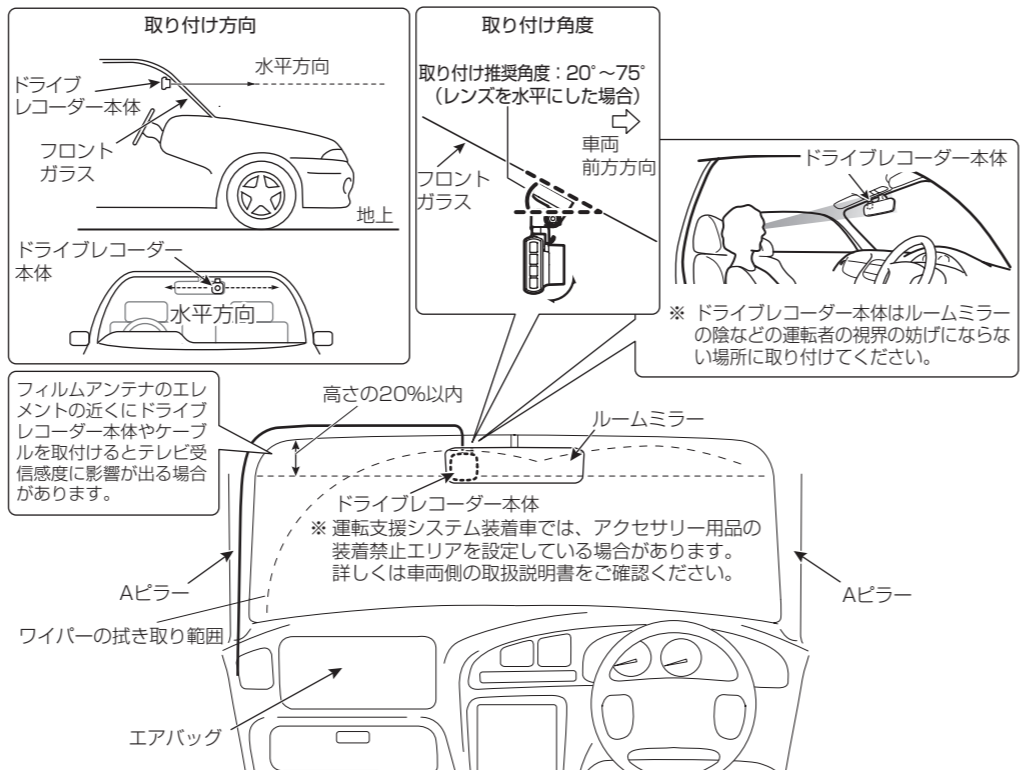
正しく取り付けられていないと、走行中にはがれて事故の原因になります。ときどき点検してください。

# 取り付け

## フロントガラス取り付け指定位置

ドライブレコーダー本体をフロントガラスに取り付ける場合、以下の条件を全て満たす車両および位置に取り付けてください。

- 取付ブラケットの貼り付け面がフロントガラスの高さの上縁から20%以内の位置（ウェザー・ストリップ、モール等と重なる部分およびマスキングが施されている部分を除く実長の20%以内の範囲）あるいは、運転席から見てルームミラーの陰になる位置
- ドライブレコーダー本体のレンズ部分がワイパーの拭き取り範囲内に入る位置
- ドライブレコーダー本体のレンズ部分がサンシェードやクロセラライン・クロセラパターンにかからない位置
- 車検ステッカーと重ならない位置
- ドライブレコーダー本体が前方および左右に対して水平方向を向く位置
- シガーライター電源ケーブルが無理なく引き回せる位置



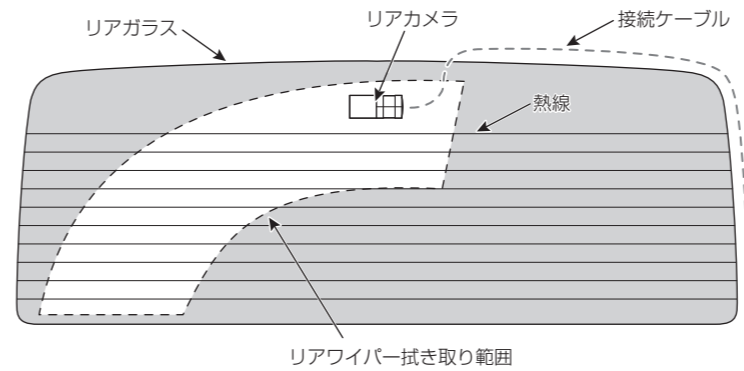
## 必ずお守りください

フロントガラスに取り付ける場合は、運転に安全な視野を確保し、性能を十分に発揮させるために、必ず「フロントガラス取り付け指定位置」に取り付けてください。指定位置以外に取り付けると道路運送車両の保安基準に適合せず、車検に通らなかったり、整備不良の対象となります。

## リアガラス取り付け推奨位置

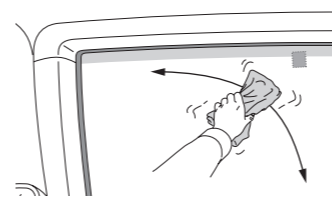
リアカメラをリアガラスに取り付ける場合、以下の条件を全て満たす車両および位置への取り付けを推奨します。

- リアカメラのレンズ部分がワイパーの拭き取り範囲内に入る位置
- リアカメラが後方および左右に対して水平方向を向く位置
- リアカメラのレンズ部分および両面テープが熱線と重ならない位置
- リアカメラの接続ケーブルが無理なく引き回せる位置



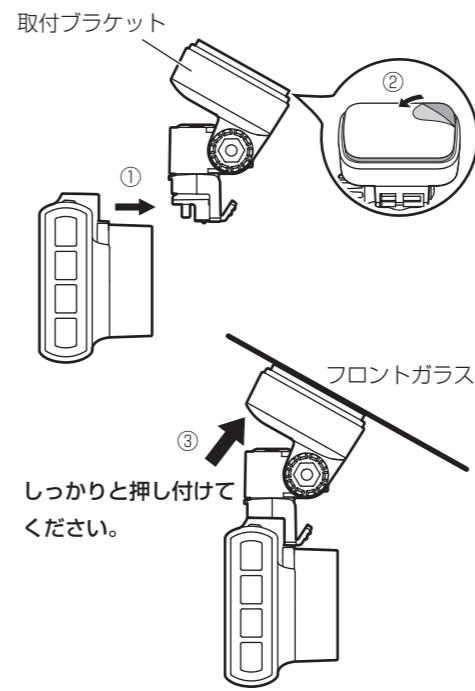
## ドライブレコーダー本体の取り付け

### 1 クリーナークロスで取り付け部分の汚れ・油などを取り除きます



### 2 ドライブレコーダー本体を取り付けます

- ドライブレコーダー本体を取付ブラケットにセットします。
- 取付ブラケットの両面テープはくり紙をはがします。
- フロントガラスの指定位置に取り付けます。両面テープの全面を一度に貼り付けると気泡が入る可能性があります。片側から少しずつ貼り付けると気泡が入りにくくなります。



## 注意

- フロントガラスの表面が乾いてから貼ってください。
- 液晶モニターの場合は絶対に押さないでください。
- 取付ブラケットの両面テープは非常に強い粘着力を持っており、一度貼り付けると貼り直しは困難なため、十分ご注意ください。
- 粘着テープの取付強度を確保するため、取付後24時間以上放置してから使用してください。

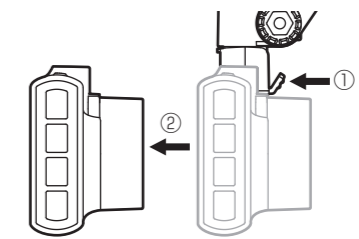
## 3 取り付け角度を調整します

角度調整ボルトを緩めて調整します。調整したら緩めたボルトを締めて固定します。



### ■ドライブレコーダー本体の取り外しかた

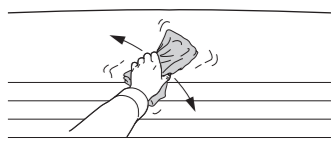
- 下図の突起部を押しなが、②ドライブレコーダー本体を取り外します。



## リアカメラの取り付け

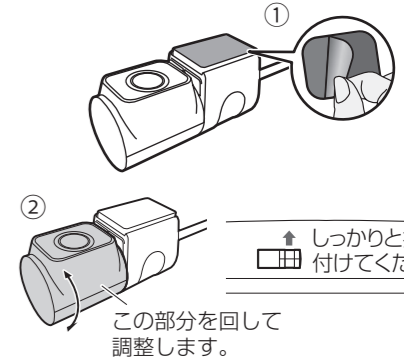
リアカメラの取り付け方向に応じて、映像の上下が設定できます。→「ドライブレコーダーの設定」-「設定できる機能」-「録画設定」-「取付方向」

### 1 クリーナークロスで取り付け部分の汚れ・油などを取り除きます



### 2 リアカメラを取り付けます

- リアカメラの両面テープはくり紙をはがします。
- レンズが車外に向くよう調整し、リアガラスの指定位置に取り付けます。本体の取り付けと同様、気泡が入らないように片側から少しずつ貼り付けてください。

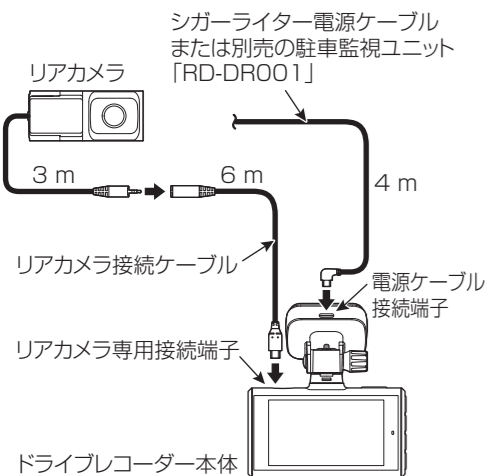


## 注意

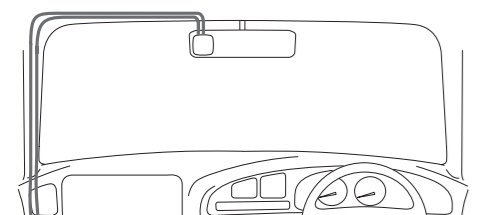
- リアガラスの表面が乾いてから貼ってください。
- リアカメラの両面テープは非常に強い粘着力を持っており、一度貼り付けると貼り直しは困難なため、十分ご注意ください。
- 粘着テープの取付強度を確保するため、取付後24時間以上放置してから使用してください。

# 接続

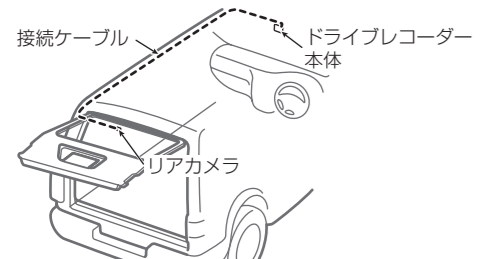
## 1 ドライブレコーダー本体とシガーライター電源ケーブル、リアカメラ接続ケーブルを接続します



## 2 シガーライター電源ケーブル、リアカメラ接続ケーブルを助手席側に引き回します

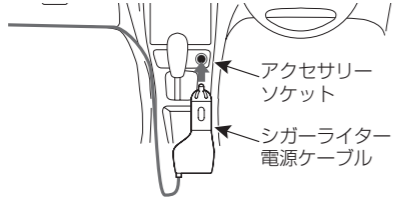


### ■ リアカメラの配線例



## 3 シガーライター電源ケーブルを車のアクセサリソケットに接続します

車のアクセサリソケットに奥までしっかり押し込んで、確実に接続してください。正しく通电している場合は、シガーライター電源ケーブルのインジケーターが赤く光ります。(アクセサリソケットの位置は車によって異なります。)



### ⚠ 注意

- シガーライター使用直後はアクセサリソケットが高温になっています。そのままシガーライター電源ケーブルを挿入すると先端が溶断・ショートする可能性があります。しばらく時間をおいて熱が冷めてからシガーライター電源ケーブルを挿入してください。

## 4 車のエンジンをかけて撮影画面を表示します

## 5 車外の映像が適切に表示されるようにドライブレコーダー本体およびリアカメラのレンズの角度を調整します

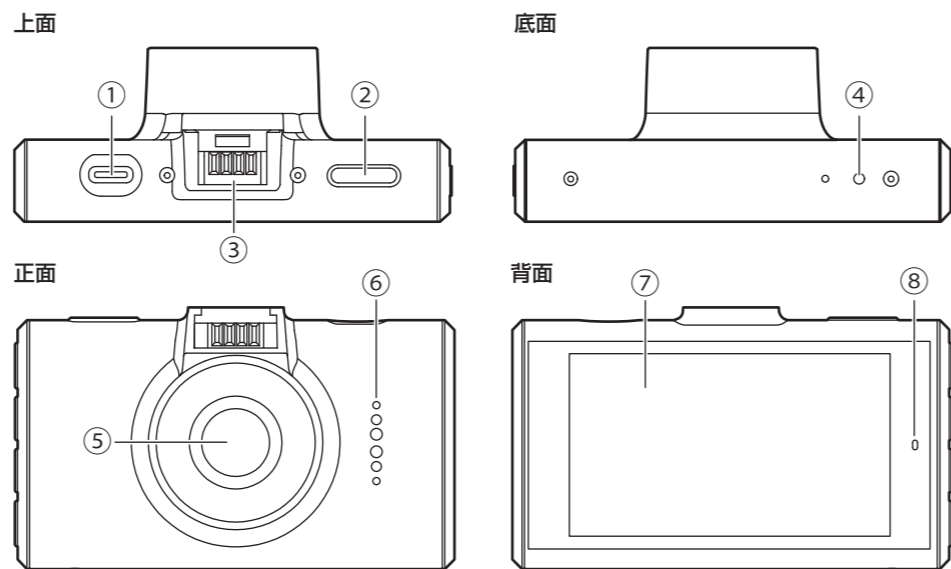
ドライブレコーダー本体のカメラ映像とリアカメラの映像を切り換えるには、画面切り換えボタンを押します。→「各部の名称」

### ■ メモ

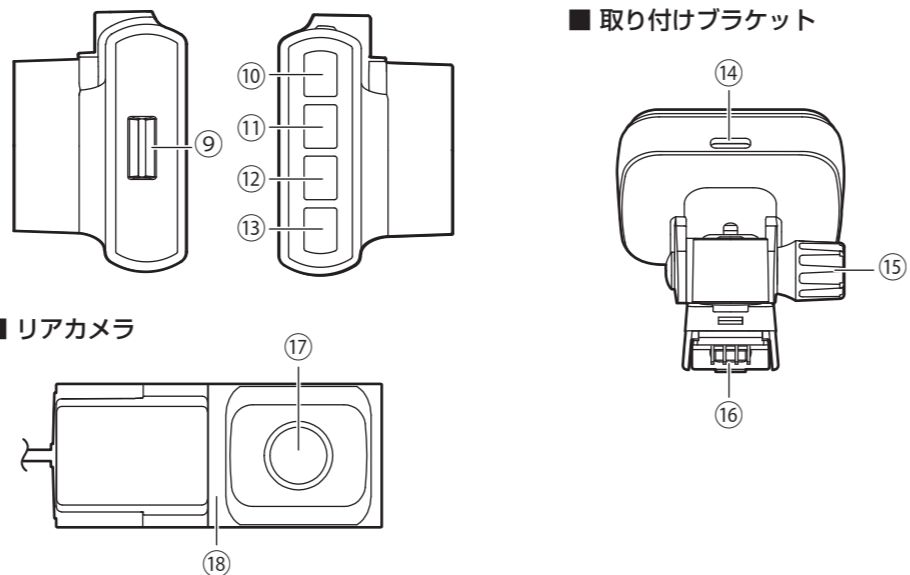
- お買い上げ時は、保護フィルムが貼られています。はがして使用してください。
- 別売の駐車監視ユニット「RD-DR001」を接続する場合は、ACC 連動設定を A モードに設定してください。→「駐車監視機能について」

# 各部の名称

## ■ ドライブレコーダー本体



## 左側面 右側面



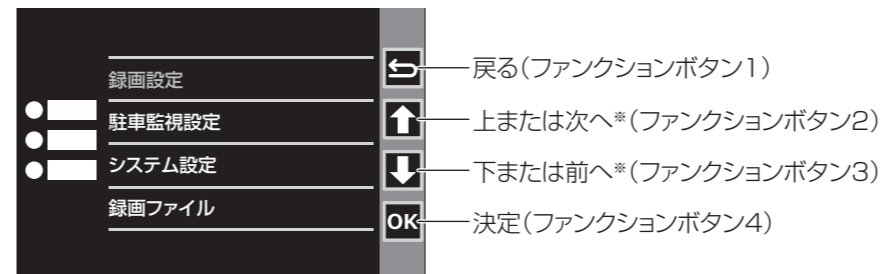
## ■ ドライブレコーダー本体

- ① リアカメラ専用接続端子  
リアカメラ接続ケーブルを接続します。
- ② 手動録画  
手動録画を行います。
- ③ 取り付けブラケット挿入部
- ④ リセットボタン  
本機をリセットできます。先の尖っていないもので押してください。
- ⑤ レンズ
- ⑥ スピーカー
- ⑦ 液晶モニター
- ⑧ システムインジケーター
- ⑨ microSD カードスロット
- ⑩ メニューボタン/ファンクションボタン 1  
連続録画を停止し、メインメニュー画面を表示します。メニュー画面表示中はファンクションボタン 1 として動作します。
- ⑪ マイクボタン/ファンクションボタン 2  
マイクを ON/OFF します。メニュー画面表示中はファンクションボタン 2 として動作します。
- ⑫ 画面切り換えボタン/ファンクションボタン 3  
押すたびに、下記のように切り換わります。フロントカメラの映像→リアカメラの映像→フロントカメラの映像+リアカメラ映像の小画面→リアカメラの映像+フロントカメラ映像の小画面→フロントカメラの映像に戻る  
メニュー画面表示中はファンクションボタン 3 として動作します。
- ⑬ 駐車監視機能 ON/OFF\* /ファンクションボタン 4  
駐車監視ユニット接続時、押すたびに駐車監視機能を ON/OFF します。メニュー画面表示中はファンクションボタン 4 として動作します。
- ⑭ 電源ケーブル接続端子  
シガーライター電源ケーブルを接続します。
- ⑮ 角度調整ボルト  
緩めることでドライブレコーダー本体の角度が調整できます。
- ⑯ ドライブレコーダー本体挿入部
- リアカメラ
- ⑰ レンズ
- ⑱ 角度調整ジョグ  
回して、レンズの角度を調整できます。

※別売の駐車監視ユニット「RD-DR001」使用時のみ。

## ファンクションボタンについて

メニュー画面表示中、ファンクションボタンの機能は画面右側に表示されるアイコンと連動します。



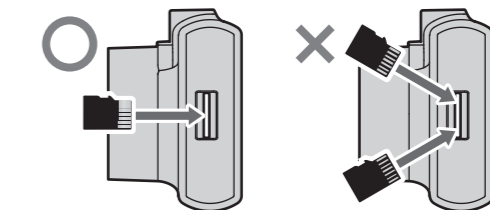
※感度調整の画面を表示している場合は、感度を高くするまたは低くします。

# microSD カードの入れかた・取り出しかた

microSD カードを出し入れする際は、必ずクルマのエンジンをオフ (ACC OFF) にしてください。ファイル保存処理中のメッセージが表示されている間は、microSD カードを絶対に取り出さないでください。

## microSD カードを挿入する

microSD カードの端を持ち、ラベル面を本機の正面側に向けてゆっくりと「カチッ」と音がするまで内側へ押し (①)、ロックを解除してから取り出します (②)。

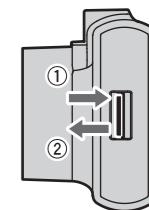


### ⚠ 注意

- microSD カードを斜めに挿入しないでください。破損の原因になります。

## microSD カードを取り出す

microSD カードの上端をゆっくりと「カチッ」と音がするまで内側へ押し (①)、ロックを解除してから取り出します (②)。



### ⚠ 注意

- microSD カードは書き込み後は熱を有しているため、取扱には注意してください。

## SD カード寿命検知機能について

パイオニア製 microSD カードを装着している場合、一定の保証書き込み回数に達すると、本機からブザー音が「ピーピーピー」と鳴り、microSD カードの交換を推奨する旨のメッセージが画面に表示されます。

メッセージは、microSD カードの交換が完了するまで一定間隔で表示されます。

## SD カードフォーマット警告機能について

microSD カードの異常を検知すると、本機からブザー音が「ピーピーピー」と鳴り、microSD カードのフォーマットを促すメッセージが画面に表示されます。

ファンクションボタン 2 または 3 を押して [はい] または [いいえ] を選び、ファンクションボタン 4 を押します

はい：フォーマットをするかどうかを再確認する画面が表示されます。

[はい] を選ぶとフォーマットが開始されます。フォーマットが完了すると再起動を促すメッセージが表示されます。[はい] を選んで再起動してください。

いいえ：フォーマットは行われず、録画も開始されません。新しい microSD カードに交換してください。



# ドライブレコーダーの使いかた

必ず安全な場所に停車してパーキングブレーキをかけてから操作してください。

## 本機の電源について

本機は、車のエンジンをオン（ACC ON）にすると起動し、自動的に録画を開始します。（連続録画機能）→「ドライブレコーダーの使いかた」の「連続録画機能について」

車のエンジンをオフ（ACC OFF）にすると本機の電源がオフになります。ファイル保存処理中のメッセージが表示されている間は、microSD カードを絶対に取り出さないでください。

## システムインジケータ表示について

本機の動作状態をシステムインジケータで表します。

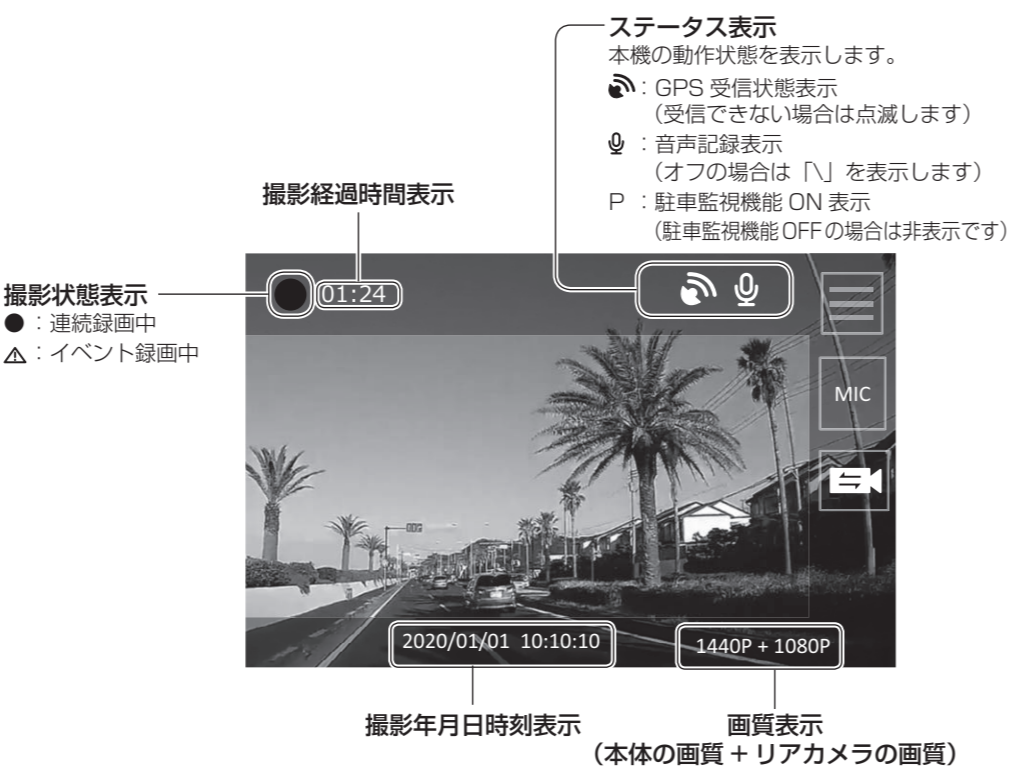
システムインジケータ	メニュー表示中 /再生中	連続録画中	イベント録画中	駐車監視中 <sup>*1</sup>	駐車監視録画中 <sup>*1</sup>	警告発生中
点灯	—	○	—	—	—	—
A. 点滅 <sup>*2</sup> (遅い)	—	—	○	—	○	—
B. 点滅 <sup>*2</sup>	—	—	—	—	—	○
C. 点滅 <sup>*2</sup>	—	—	—	—	—	—
D. 点滅 (遅い) <sup>*3</sup>	—	—	—	○	—	—
消灯	○	—	—	—	—	—

※ 1：別売の駐車監視ユニット「RD-DR001」使用時のみ。

※ 2：1秒間での点滅回数：A 1回、B 2回、C 4回

※ 3：10秒間での点滅回数：2回

## 撮影画面の見かた



## 連続録画機能について

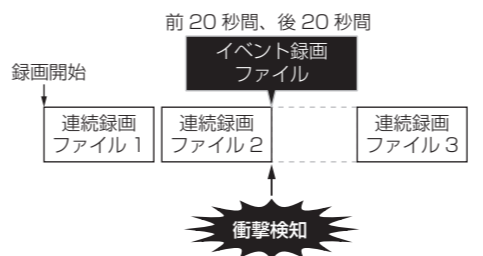
本機が起動すると自動的に録画を開始します。録画した映像は設定時間単位（工場出荷時は3分間）で1ファイルとしてmicroSDカードに保存され、microSDカードの容量が無くなると、古いファイルから上書きされます。

### メモ

- 連続録画時間は変更することができます。→「ドライブレコーダーの設定」の「設定できる機能」-「録画設定」-「録画ファイル時間」
- 下記の場合に連続録画を停止します。
  - メニュー画面を表示している場合
  - 電源供給が停止された場合
- 録画時間は状況によって変更になる場合があります。

## イベント録画機能について

■ 衝撃を検知して自動で撮影(イベント録画)  
他の車との接触事故が発生した場合など、本機（ドライブレコーダー本体）が衝撃を検知した時点から前20秒間、後20秒間が自動的にイベント録画ファイルとして保存されます。



衝撃を検知した際には本機からブザー音が鳴り、画面下部にイベント録画中であることを示す赤い進捗バーが表示されます。  
※ 連続録画ファイルは「Video」フォルダーに保存されます。  
※ イベント録画ファイルは「Event」フォルダーに保存されます。

### ■ 手で撮影(手動イベント録画)

連続録画中に手動録画ボタンを押すと、押した時点から前20秒間、後20秒間がイベント録画ファイルとして保存されます。

### メモ

- 衝撃を検知する感度を調節できます。→「ドライブレコーダーの設定」の「設定できる機能」-「録画設定」-「衝撃検知感度」
- イベント録画中に衝撃を検知したり、手動撮影の操作を行ったりした場合は、最初のイベント録画が終了後20秒間が延長録画されます。ただし、延長録画は最初の1回だけが対象となるため、延長録画中に再度衝撃を検知してもその分の延長録画は行われません。
- 録画時間は状況によって変更になる場合があります。

## 駐車監視機能について

本機に別売の駐車監視ユニット「RD-DR001」を接続すると、駐車監視機能が使えます。本機への電源供給が止まる（車のエンジンをオフ）と、一定時間後に駐車監視機能が動作します。駐車監視機能動作中に振動による車の動きを本機が検知すると、検知した時点から前20秒間、後20秒間が駐車監視録画ファイルとして「Parking」フォルダーに保存されます。

### メモ

- 駐車監視ユニットのACC連動設定をAモードに設定してください。詳しくは駐車監視ユニットの取扱説明書をご覧ください。
- 駐車監視機能はON/OFFできます（工場出荷時はOFF）。また、衝撃を検知する感度の調整や駐車監視動作時間、システムインジケータの点滅/消灯が設定できます。→「ドライブレコーダーの設定」の「設定できる機能」-「駐車監視設定」
- 録画時間は状況によって変更になる場合があります。

## 撮影したファイルを再生する

撮影した動画ファイルの再生ができます。

### 1 メニューボタンを押してメインメニューを開きます

以降表示される各画面において、約30秒間何も操作が行われなかった場合は、自動的に録画中画面に戻ります。

### 2 ファンクションボタン2または3を押して[録画ファイル]を選び、ファンクションボタン4を押します



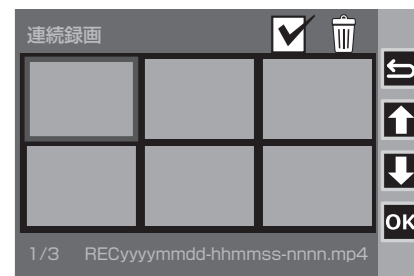
### 3 ファンクションボタン2または3を押して[連続録画]または[イベント]を選び、ファンクションボタン4を押します

[連続録画]を選んだ場合を例に説明します。



選んだフォルダー内のファイルをサムネイル表示します。

### 4 ファンクションボタン2または3を押してファイルを選び、ファンクションボタン4を押します



選んだファイルを再生します。

### メモ

- を選んでファンクションボタン4を押すと、全ファイルに  が表示されます。その状態のまま  を選んでファンクションボタン4を押すと、全ファイル削除確認画面が表示されます。[はい] を選ぶと、全てのファイルを削除できます。
- を選んでファンクションボタン4を押すと、ファイル選択画面になります。削除したいファイルを選んで  を付けてから再度  を選んでファンクションボタン4を押すと、ファイル削除確認画面が表示されます。[はい] を選ぶと、選んだファイルのみを削除できます。
- ファイルを再生中はボタン操作音がオフになります。

# ドライブレコーダーの設定

必ず安全な場所に停車してパーキングブレーキをかけてから操作してください。

本機に関する設定が行えます。また、設定内容を工場出荷時の状態に戻すことができます。この他、microSD カードのフォーマットや本機のバージョン情報を確認することもできます。メニュー画面表示中は、連続録画機能が停止しますのでご注意ください。

## 1 メニューボタンを押してメインメニューを開きます

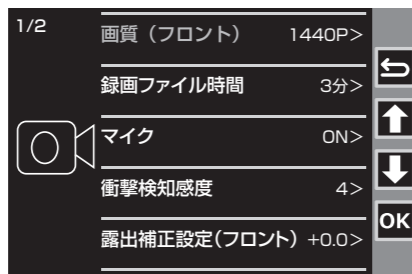
以降表示される各画面において、約 30 秒間何も操作が行われなかった場合は、自動的に録画中画面に戻ります。

## 2 ファンクションボタン 2 または 3 を押して [録画設定] または [システム設定] を選び、ファンクションボタン 4 を押します

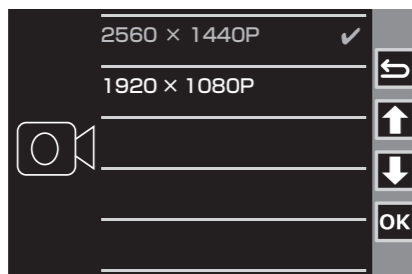
[録画設定] を選んだ場合を例に説明します。



## 3 ファンクションボタン 2 または 3 を押して設定項目を選び、ファンクションボタン 4 を押します



## 4 ファンクションボタン 2 または 3 を押して設定値を選び、ファンクションボタン 4 を押します



設定が完了し、前画面に戻ります。

## 設定できる機能

### ■ 録画設定 太字：工場出荷時の設定値です。

設定項目	設定内容	設定値
画質 (フロント)	フロントカメラによる動画撮影時の画質を設定できます。	<b>[2560 × 1440P]</b> / [1920 × 1080P]
録画ファイル時間	連続録画機能の 1 ファイルあたりの録画時間を設定できます。	[1 分] / <b>[3 分]</b>
マイク	動画撮影中に本機周辺の音声も記録する / しないを設定できます。	<b>[ON]</b> / [OFF]
衝撃検知感度	振動や衝撃を検知する感度を設定できます。大きい数字にすると感度が高くなります。	[OFF] / [1] ~ [7] <b>[4]</b>
露出補正設定 (フロント)	フロントカメラによる動画撮影時の露出を設定できます。	[-2.0] ~ [+2.0] <b>[+0.0]</b>
露出補正設定 (リア)	リアカメラによる動画撮影時の露出を設定できます。	[-2.0] ~ [+2.0] <b>[+0.0]</b>
取付方向	リアカメラの取り付け方向を設定できます。[リアガラス取り付け推奨位置] の図の通りに取り付ける場合は [取付 1]、図と反対向きに取り付ける場合は [取付 2] を選びます。	<b>[取付 1]</b> / [取付 2]
LCD 表示	リアカメラの映像表示方法を設定できます。	<b>[鏡像]</b> / [正像]
録画フォーマット	動画撮影時の録画フォーマットを設定できます。 ※ H.265 に設定した場合、お使いのビューアースoftwareによっては再生できないことがあります。	<b>[H.264]</b> / [H.265]

### ■ 駐車監視設定 太字：工場出荷時の設定値です。

設定項目	設定内容	設定値
駐車監視機能	駐車監視機能を使用する / しないを設定できます。	<b>[ON]</b> / [OFF]
駐車監視時間	駐車監視機能の動作時間を設定できます。	<b>[1 時間]</b> / [3 時間] / [6 時間] / [12 時間]
衝撃検知感度	駐車監視中に振動や衝撃を検知する感度を設定できます。大きい数字にすると感度が高くなります。	[OFF] / [1] ~ [7] <b>[5]</b>
システムインジケータ	駐車監視機能の動作中、本機のシステムインジケータ (LED) を点滅する / しないを設定できます。	<b>[ON]</b> / [OFF]

### ■ システム設定 太字：工場出荷時の設定値です。

設定項目	設定内容	設定値
言語	画面に表示する言語を設定できます。	<b>[日本語]</b> / [English]
SD カードフォーマット	microSD カード内のすべてのファイルを削除できます。フォーマットが完了すると、本機は自動的に再起動を行います。	—
手動日時設定	年月日、時刻を手動で設定できます。	—
GMT 設定	タイムゾーンを設定できます。日本国内で本機を使用する場合は工場出荷時の値 [+ 9] を選んでください。	[- 12] ~ [+12] <b>[+9]</b>
速度単位	速度表示の単位を設定できます。	<b>[Km/h]</b> / [mph]
モニター表示時間設定	スリープに入る時間を設定できます。メニューを表示しているときは、本設定に関わらずスリープはしません。	[常時 ON] / [1 分] / <b>[3 分]</b> / [5 分] / [時刻表示]
システム音量設定	操作音および再生音量の設定ができます。	[OFF] / [小] / <b>[標準]</b> / [大]
工場出荷状態に戻す	設定を工場出荷時の状態に戻す (初期化する) ことができます。初期化が完了すると、本機は自動的に再起動を行います。	—
OSS	本機に使用しているライセンス情報を確認できます。	—
システム情報	本機の製品型番やファームウェアのバージョン情報を確認できます。	—

# 録画時間の目安

下表は、本機の工場出荷状態における SD カードの容量に応じた各動画の録画時間の目安であり、ご使用の microSD カードや被写体、撮影条件等により変動します。

### 32 GB の場合の録画時間の目安

圧縮方式	解像度	連続録画	イベント録画
H.264	1440P	約 1 時間 50 分	約 31 分
	1080P	約 2 時間 10 分	約 37 分
H.265	1440P	約 2 時間	約 34 分
	1080P	約 2 時間 45 分	約 46 分

### 128 GB の場合の録画時間の目安

圧縮方式	解像度	連続録画	イベント録画
H.264	1440P	約 7 時間 15 分	約 2 時間
	1080P	約 8 時間 30 分	約 2 時間 25 分
H.265	1440P	約 8 時間	約 2 時間 15 分
	1080P	約 10 時間 10 分	約 2 時間 50 分

## メモ

- 録画時間は目安です。録画する風景等で異なります。



# 撮影したファイルのバックアップ

microSD カードの空き容量が少ない場合は、古いファイルから削除されます。

残しておきたい大切なファイルがある場合は、次の方法でバックアップすることをお勧めします。

## メモ

- 事前に予備の microSD カードを用意してください。

## 1 microSD カードを差し換えます

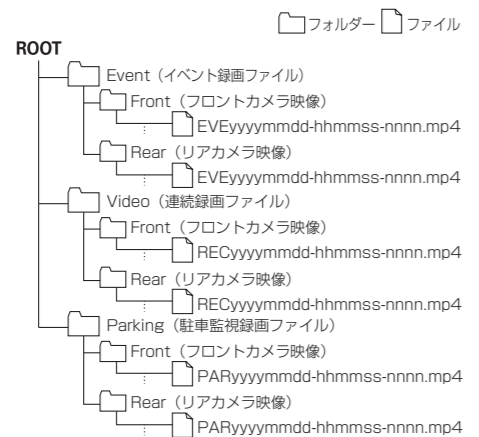
安全な場所に停車し、本機の電源を必ずオフにしてから microSD カードを取り出して、予備の microSD カードと差し換えてください。

## 2 パソコンにファイルをコピーまたは移動します

必要に応じて同梱の SD カードアダプターを使用し、microSD カードをパソコンへ挿入します。

## フォルダーやファイルの構成について

microSD カード内のフォルダーやファイルの構成は下図の通りです。



## メモ

- "yyyyymmdd" には年月日、"hhmmss" には時分秒、"nnnn" には録画ファイル番号が自動的に付与されます。
- 本機の高温保護機能が動き連続録画を中断した場合、ファイル名は "REC" → "REH" となります。
- イベント録画中または駐車監視録画中の場合は、録画終了後に高温保護機能が働くため録画は中断されませんが、ファイル名は "EVE" → "EVH", "PAR" → "PAH" になります。
- 駐車監視ユニット「RD-DR001」使用時のみ「Parking」フォルダーに駐車監視録画ファイルが保存されます。

# 故障かな?と思ったら

修理に出す前に、下記内容をご確認ください。

症状	原因	対処
本機の表示や動作がおかしくなった。	microSD カードに何らかの問題が発生している可能性があります。	microSD カードをフォーマットしてください。 →「ドライブレコーダーの設定」の「設定できる機能」－「システム設定」－「SD カードフォーマット」
記録されているはずのファイルが見当たらない。	microSD カード内の保存領域が足りなくなった場合、ファイルは古いものから順に上書き保存されています。	残しておきたい大切なファイルがある場合は、バックアップすることをお勧めします。 →「撮影したファイルのバックアップ」
運転中に事故にあったが動画ファイルが作られていない。	振動検知の感度が適切では無い可能性があります。	検知するセンサーの感度を調整してください。 →「ドライブレコーダーの設定」の「設定できる機能」－「録画設定」－「衝撃検知感度」
動画ファイルを再生しても、音声が届かない。	音声録音の設定が OFF の可能性があります。	音声記録の設定を再確認してください。 →「ドライブレコーダーの設定」の「設定できる機能」－「録画設定」－「マイク」

# 仕様

型番	VREC-DH301D
記録媒体	microSDHC/microSDXC カード class10 (16 GB ~ 128 GB)
撮像素子	本体：約 370 万画素 (車載用高感度 CMOS センサー) リアカメラ：約 200 万画素 (車載用高感度 CMOS センサー)
記録画角	本体：水平 112° 垂直 60° 対角 135° リアカメラ：水平 105° 垂直 55° 対角 128°
F 値	本体：F1.4 リアカメラ：F1.8
録画モード	本体：2560 × 1440P / 1920 × 1080P リアカメラ：1920 × 1080P
GPS	搭載
G センサー	3 軸 G センサー (イベント録画時：7 段階レベル設定可能/駐車監視時：7 段階レベル設定可能 <sup>*3</sup> )
記録方式	連続録画 / イベント録画 / 手動イベント録画 / 駐車監視録画 <sup>*3</sup>
録画ファイル構成	1 分 / 3 分
ディスプレイ	3.0 インチ液晶
音声録音	ON/OFF 可能
フレームレート	27.0 fps
動画圧縮方式	MP4 (H.264 / H.265) <sup>*1</sup>
電源電圧	本体 DC5 V (12 V / 24 V 用シガーライター電源ケーブル付属)
消費電力	4.2 W
動作温度	-10℃ ~ +60℃ <sup>*2</sup>
外形寸法	本体：90.5 mm × 101.9 mm × 36 mm (幅 × 高さ × 奥行) リアカメラ：58.9 mm × 25.1 mm × 31.5 mm (幅 × 高さ × 奥行)
本体質量	本体：125 g (ブラケット含む) リアカメラ：250 g (ケーブル含む)
取付推奨角度	本体：20° ~ 75° リアカメラ：0° ~ 90°

※ 1：MP4 (H.265) 選択の場合は、MP4 (H.265) 対応ソフト (VLC プレイヤー等) で再生できます。Windows Media™ Player で再生する場合は、HEVC コーデックを入れる必要があります。

※ 2：60℃以上の高温環境下で使用すると本機の録画機能が停止し、画面にメッセージが表示される場合があります。温度が下がると、自動的に録画を再開します。

※ 3：別売の駐車監視ユニット「RD-DR001」使用時のみ。

# GPS について

● GPS 衛星 (人工衛星) から位置測定用の電波を受信して、現在地を測位するシステムが GPS (Global Positioning System：グローバルポジショニングシステム) です。

● GPS 衛星信号は、固体物質 (ガラスを除く) を通過することができません。次のような場所にいるときは、GPS 衛星の電波がさえぎられて受信できないことがあります。トンネルの中やビルの駐車場、2 層構造の高速道路の下、高層ビルの密集地帯、密集した樹木の間

# 商標・著作権など

- microSDHC、microSDXC ロゴは SD-3C LLC の商標です。



- Windows Media は、米国 Microsoft Corporation の米国および/またはその他の国における登録商標または商標です。

